

平成三十年度

横浜学園高等学校入学試験問題

国語

(四十五分)

注意事項

- 1 開始の合図があるまで問題は開かないこと。
- 2 解答はすべて解答用紙に記入すること。
- 3 解答用紙は問題と別に提出すること。

問題一 次の文章を読んで後の問いに答えなさい。

出版社の人と話をしていると、「タイトルを決めるときが一番悩みます」ということをよく聞きます。もちろん、タイトル以前に著者に原稿を書いてもらったり、編集をする作業のほうがエネルギーを使うのでしようが、タイトルの決定はそれだけ迷うことが多いのでしよう。

a、ソシキが大きいところだと、編集部だけでなく営業部や役員も参加してタイトルを会議にかけたりするので、さまざまな意見が出すぎて、なかなか決まらなかつたりするようです。

タイトルはそうやって練りに練った末に決まったものも多いので、タイトルに釣られて買ってしまうこともあります。しかし、実際に読んでみるとたいたことがなくて、ああ失敗したな、と思うことも少なくありません。

D ある編集者は、タイトルで売れるかどうかがほぼ決まってしまうと言っていましたから、中身はさておき、とにかく売らんかなというあざといものも増えているのかもしれない。

① 私が本を買う決め手とするのは、目次です。書店で本を手にしたときは、まず目次をじっくり読みます。目次を見れば、どういう内容なのか、どういう構成で展開しようとしているのかがほぼわかる。作者がどういう意図をもって、何を読者に伝えたいのか、作者の論理的思考がだいたい見える。そうやって大枠を押さえておくと、理解も早く、読むスピードも上がります。

ですから目次は、私にとってはかなり重要です。まえがきに目を走らせることもありますが、あまり買う買わないを左右されることはない。やはり目次が決定的な材料です。

あとは本の装丁も影響することがあります。手にとってくださいといわんばかりの仰々しいものは、いささか敬遠してしまふ。b、小ぶりのタイトルが慎ましげに表紙の隅っこに鎮座して、書店の目立たないところにあると、おおっと思っと思わず手にとってしまいます。

あとがきは、本文に書けなかつたり、テーマから少しはずれたことを載せていたり、誰かへの謝辞だったりするので、書店で読むことはほぼありません。ただ、文庫本などで解説があると、それを読んで判断材料にすることはあります。

ときには著者のプロフィールを見て、こういうテーマで研究をしてきて、こういう立場で言葉を発しているんだなとわかると、ちょっと読んでみようかということもあります。

そうやってよく吟味したつもりでも、外してしまうことはいくらでもあります。でも、外れることがあるから、期待以上のものに巡り合ったときの喜びも、また大きくなる。③ そういうことがあるから、書店で本を選ぶのは何ものにも代えがたい喜びなのです。

最近は大手の書店などへ行くと、新聞の書評で取り上げられた本を集めたコーナーがあつたりします。

④ 書評は新聞だけでなく、週刊誌をはじめさまざまな雑誌にも載っています。④ わけても大手新聞の書評は読者人口が圧倒的に多いこともあって、そこで取り上げられることは販売上、多少なりとも優位となるのでしよう。

私は書評を見て、本を買うことはあまりありません。知り合いの出版人が以前、「新聞などの書評で取り上げられたからといって、そう売れるわけではないんですよ」といっていましたが、実際そうなのでしょう。

そもそも書評は出版社の後押しや、人間関係の義理<sup>\*</sup>で紹介することもけっこうあるそうです。いい内容だから紹介されるとは限らないわけですから、そんな事情とは関係なく、選者<sup>せんじや</sup>が純粋に自分が紹介したいものを取り上げることもあるでしょう。

c、だからといって自分の好みに合うかどうかの保証はありません。興味の持ち方も考え方も感じ方も、人はみな違います。

反対に、人からすすめられても、すぐに飛びつくことはしません。多くの人が気に入っても、私は私、人とは感じ方も好みも違うと思っていますから、<sup>H</sup>食指<sup>※しよくし</sup>が動かないのです。

※ことほどさように、書評は読者にとってはあまり参考にはならないし、当てにならない。その程度のもんと思っておいたほうがいいと思います。

いまは時代の移り変わりがあまりにも早すぎて、せわしない空気がいつも流れているような感じがします。d、ゆったりとした時間のなかで、落ち着いて本を読むという余裕を持ちにくいのでしょうか。

そんな人が増えているせいか、新刊本なんかを見ていると、いわゆるハウツー本の類<sup>たぐい</sup>が増えているようです。すなわち、すぐに役立つものを読みたいという心理の人が、以前よりもずっと増えているということなのでしょう。

私はハウツー本の類を読むことはありません。ちょっと気になるタイトルのものがあっても、目次だけぱっと読んでおしまいです。

高齢者の増加を背景に、健康実用書も大流行<sup>おほはや</sup>行りです。こうすれば膝<sup>ひざ</sup>の痛いのが治るだの、がんはふせげるだの、天寿<sup>※てんじゆ</sup>をまつとすることができるだの、さまざまテーマのものが次から次へと出されています。

そのような健康ノウハウを書いた本も、覗<sup>のぞ</sup>き見る程度です。体のカンリ<sup>かんり</sup>は、毎朝の四五分のサンポなど日ごろの生活のなかで自分が決めたことをしていればそれでいいという気持ちがあるからです。健康に細心<sup>⑦</sup>の注意を払って一〇〇歳まで生きてやろうなどという気負い<sup>\*</sup>もありませんし、とくに大病もせずに生きられるところまで生きれば十分だと思っっているからです。

⑥ハウツー本に人気があるのは、最近の人は何にでも答えらしきものをすぐに求めたがる傾向が強くなっているからだと思います。即効性を求めることが悪いとはいませんが、基本的に読書は即効性ばかりを求めてするものではないと思います。

e、民主主義について知りたいと思ひ、歴史書や政治学の関連書を読むとします。しかし、それらの本を読んだからといって、民主主義が明快に理解できるわけではありません。

とりあえずの定義はあっても、著者の立場によって民主主義のとらえ方は少しずつ違う。自分なりに民主主義はこういうものであり、こういうゲンロンの活動<sup>I</sup>をしてつくっていくものなんだという理解をきちんとするには、思考<sup>※はんそう</sup>の反芻<sup>はんそう</sup>が必要になる。だから時間<sup>I</sup>がかかります。

本を読んだときはすっかりしなかつたけど、あるときストーンと腑<sup>※ぶ</sup>に落ちるかのごとく理解できることもあります。民主主義を理解するためにさまざま

な本を読んでも、すぐにすべてが理解できるわけではありません。

戦争をテーマにした本でも、戦争はなぜ起るのか？ 平和とは何か？ 戦争が起らないようにするにはどうすればいいのか？ 等々、読んでいてさまざまな問いが生まれます。戦争は悪であり、こうすればもう起こりませんよ、などという単純なものではない。読みながら浮かんだ問いに対する答えが、すぐに得られるわけではありません。

ものごとは即効性を求めているものと、求めても仕方のないものがあります。

読書は、即効性を求めても意味のないものが多いのです。即効性がなく、自分なりの答えを考えて探すというところに、読書本来の醍醐味があるのだと思います。<sup>⑧</sup>

【出典】 丹羽宇一郎『死ぬほど読書』なお、問題作成上、文章を一部改めました。

【語注】 ※ 売らんかな……………たくさん売って、大いにもうけようとすること。

※ あざとい……………あくどい所があつて、悪い印象をあたえること。

※ 装丁……………書物の表紙。

※ 仰々しい……………大げさなこと。

※ 敬遠……………近づかないようにすること。避けること。

※ 鎮座……………どっかり座っていること。

※ 謝辞……………お礼の言葉。

※ 吟味……………よく調べること。

※ 書評……………書物の内容を紹介、批判した文章。

※ 義理……………付き合い。交際上の関係。

※ 食指……………何かがほしいという気持ち。

※ ことほごさように……………それほど。そんなに。

※ せわしない……………とても忙しいこと。

※ 天寿……………天から与えられた寿命。

※ 気負い……………張り切る気持ち。

※ 反芻……………くりかえし考え、味わうこと。

※ 腑に落ちる……………納得がいくこと。

※ 醍醐味……………本当の楽しさ。深い味わい。

※ だいごみ

問一 ～～～部㉗～㉚について、カタカナは漢字に直し、漢字は読み方をひらがなで答えなさい。

- |        |       |      |        |          |
|--------|-------|------|--------|----------|
| ㉗ 悩(み) | ㉙ ソシキ | ㉚ 影響 | ㉜ ザツシ  | ㉞ 余裕     |
| ㉘ カンリ  | ㉛ サンポ | ㉜ 細心 | ㉝ ゲンロン | ㉟ 得(られる) |

問二 本文中の空欄 

a
---

 ～ 

e
---

 にあてはまる語を次の中からそれぞれ選び、記号で答えなさい。

- ア しかし      イ たとえば      ウ また      エ そのため      オ むしろ

問三 部A～Jの品詞名として最も適当なものを次の中からそれぞれ選び、記号で答えなさい。

- |       |       |        |       |      |
|-------|-------|--------|-------|------|
| ア 動詞  | イ 形容詞 | ウ 形容動詞 | エ 名詞  | オ 副詞 |
| カ 連体詞 | キ 接続詞 | ク 感動詞  | ケ 助動詞 | コ 助詞 |

問四 部①「私が本を買う決め手とするのは、目次です。」とあるが、筆者がこのように考える理由として最も適当なものを次の中から一つ選び、

記号で答えなさい。

- ア タイトルや装丁ばかり立派なものは、人気のない作品だから。  
イ 大まかな内容や作者の論理的思考がある程度見えるから。  
ウ 本を選ぶのに時間をかけたくないから。  
エ 本の著者がどのような研究をしているのか等をよく知ることができるから。

問五 部②「それ」が指す内容を、本文中より抜き出して答えなさい。

問六 部③「そういうこと」とはどういうことか。「～ということ」につながるように本文中より四十字以内で抜き出し、最初と最後の五字を答えなさい。

問七 — 部④「そこ」が指す内容を、本文中より十字以内で抜き出して答えなさい。

問八 — 部⑤「私は人に、これはいい本ですよ、というすすめ方はしない」とあるが、筆者がこのように考える理由として最も適当なものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 新聞の書評で取り上げられた本がたくさんあるから。

イ 出版社の後押しや、人間関係の義理で紹介することを好まないから。

ウ 人はみな、興味の持ち方も考え方も感じ方も違うから。

エ 書評を書いても、あまり参考にならないから。

問九 — 部⑥「ハウツー本に人気がある」とあるが、それはなぜだと筆者は考えているか。その理由を本文中から四十字以内で抜き出し、最初と最後の五字を答えなさい。

問十 — 部⑦「それら」が指す内容を、本文中より十字程度で抜き出して答えなさい。

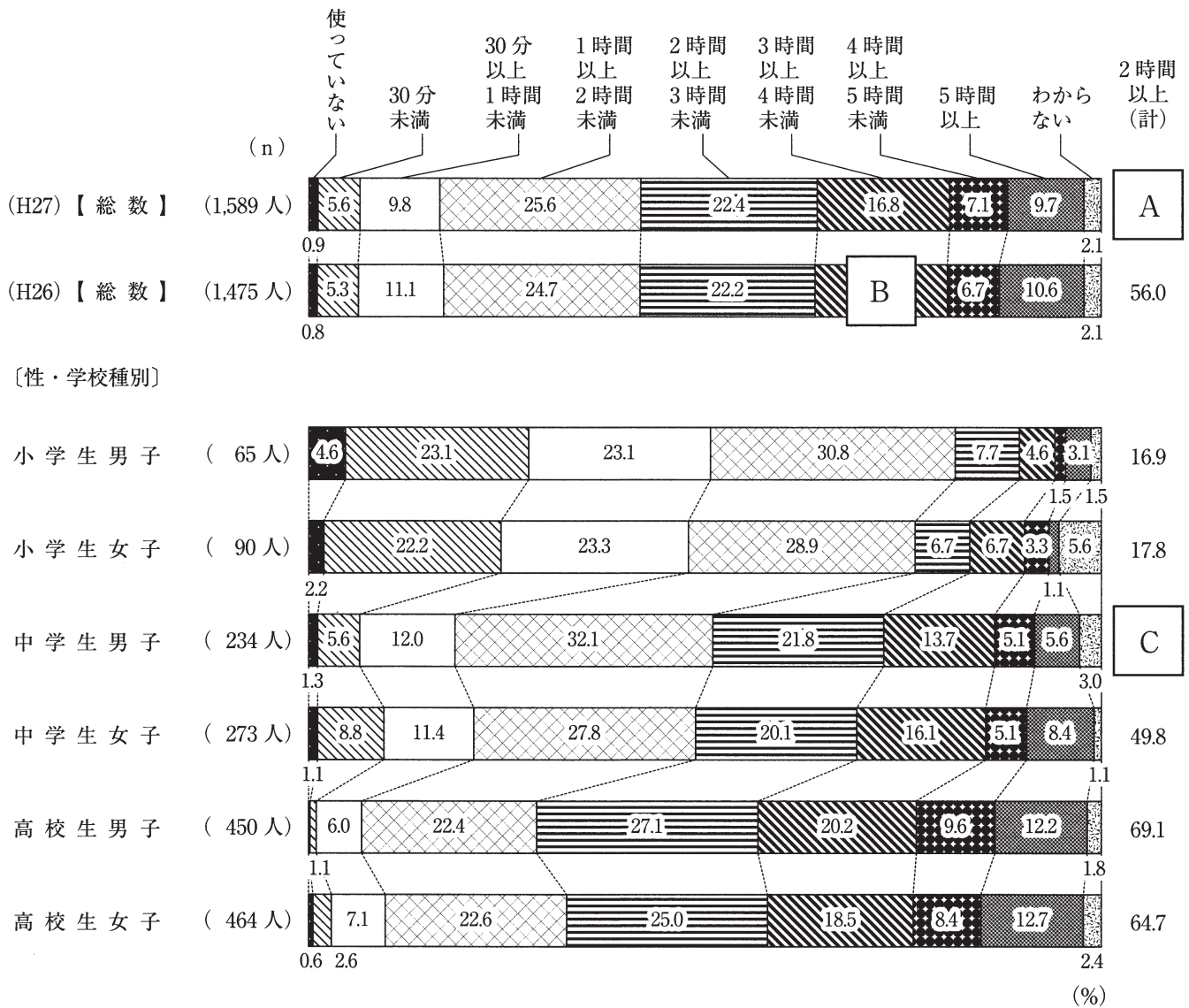
問十一 — 部⑧「読書本来の醍醐味」を、筆者はどのようなところにあると考えているか。本文中より二十字以内で抜き出し、最初と最後の五字を答えなさい。

図表1 スマートフォンによるインターネットの利用内容

	n (人)	コミュニケーション (メール、メッセージ、 ソーシャルメディアなど)	ニュース	情報検索	地図・ ナビゲーション	音楽視聴	動画視聴	電子書籍	ゲーム	ショッピング・ オークション	その他	わからない
	人	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
(H27) 総数	1,589	83.4	33.1	65.2	38.3	69.9	74.1	15.5	72.3	14.8	1.6	0.1
(H26) 総数	1,475	87.6	29.2	62.4	37.2	71.3	72.4	14.8	71.5	12.0	2.6	0.2
[性・学校種別]												
小学生男子	65	36.9	9.2	30.8	7.7	26.2	49.2	4.6	75.4	6.2	1.5	1.5
小学生女子	90	48.9	10.0	51.1	5.6	34.4	56.7	5.6	71.1	1.1	1.1	-
中学生男子	234	76.1	25.2	55.6	24.8	53.0	67.1	9.8	83.3	4.3	2.1	-
中学生女子	273	83.9	30.8	61.5	32.6	72.5	74.7	15.8	64.5	8.8	0.7	0.4
高校生男子	450	89.6	44.4	70.0	48.9	80.0	79.3	17.6	85.3	21.6	1.3	-
高校生女子	464	94.4	34.9	75.2	48.1	80.0	78.9	20.0	58.6	20.7	2.2	-

問題二 次の表は、「スマートフォンによるインターネットの利用内容と利用時間、それによって広がったと思うこと」の調査結果をまとめたものです。これらの表について、後の問いに答えなさい。

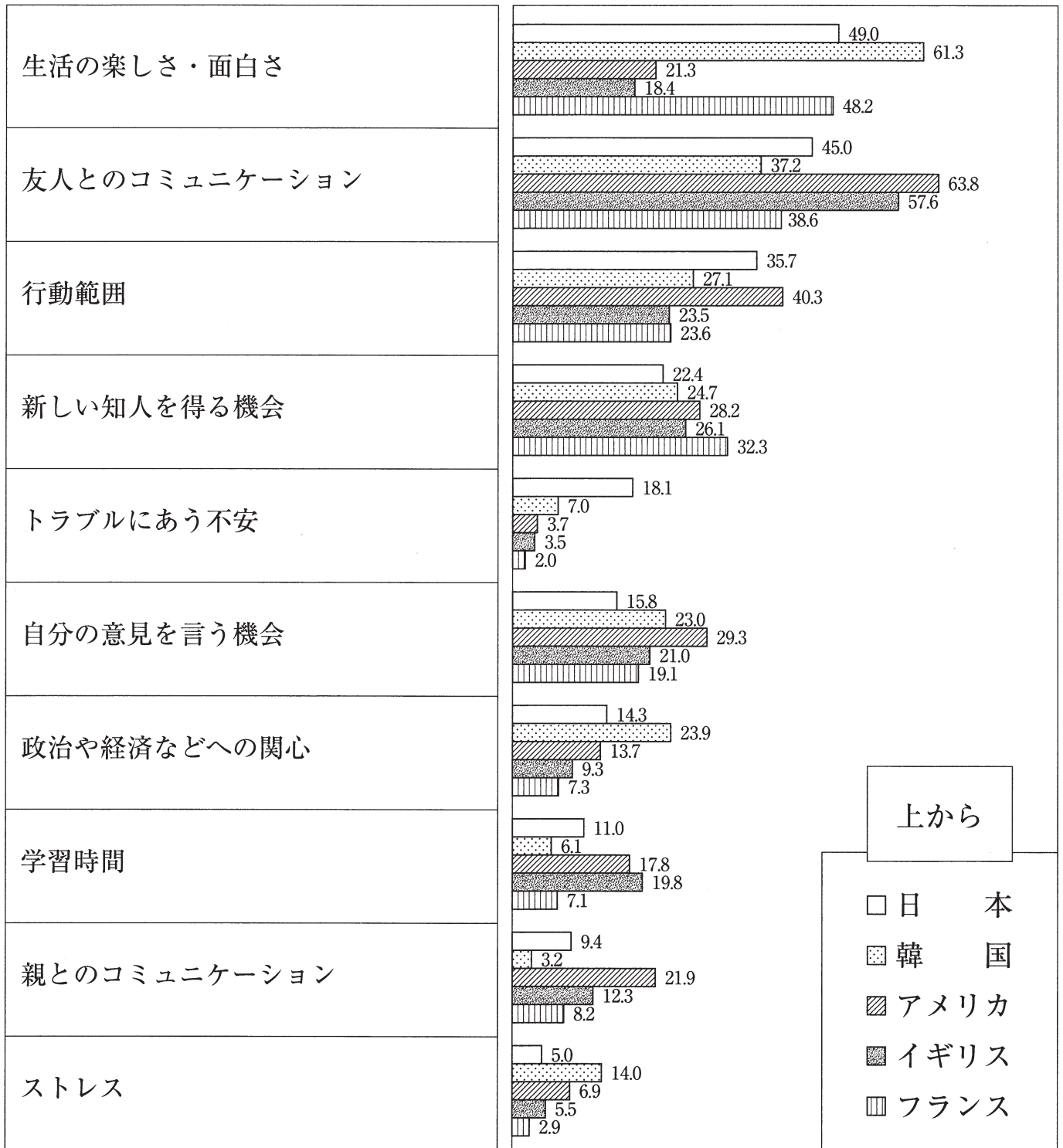
図表2 スマートフォンによるインターネットの利用時間



【出典】『平成27年度 青少年のインターネット利用環境実態調査』  
 (<http://www8.cao.go.jp/youth/youth-harm/chousa/h27/net-jittai/pdf-index.html>)  
 を一部抜粋。なお問題作成上、一部データを改めました。



図表3 各国のスマートフォンによるインターネット利用で広がったこと



上から

- 日本
- 韓国
- ▨ アメリカ
- イギリス
- ▨ フランス

(%)

【出典】『第8回 世界青年意識調査』

(<http://www8.cao.go.jp/youth/kenkyu/worldyouth8/html/mokuji.html>)

を一部抜粋。なお問題作成上、一部データを改めました。

問一 「図表1」について、次の文章のア～オに当てはまる語句や数字を表の中より抜き出して答えなさい。

スマートフォンによるインターネットの利用内容について見てみると、小学生男子では、「ゲーム」がア%で最も多く、「コミュニケーション」がイ%、「情報検索」が30・8%となっている。一方「ニュース」がウ%、「地図・ナビゲーション」がエ%と低くなっている。中学生女子になると、「コミュニケーション」が83・9%で最も多く、次いで「動画視聴」が74・7%、「オ」が72・5%、「ゲーム」が64・5%、「カ」が61・5%と続く。高校生男子では、「音楽視聴」がキ%、「動画視聴」が79・3%、「情報検索」が70・0%と読みとれる。その反面「ショッピング・オークション」はク%となっている。

問二 「図表2」の空欄A、B、Cにあてはまる数字を答えなさい。

問三 「図表2」を元にして、「利用時間が5時間以上」の割合が最も多い〔性・学校種別〕はどれか。答えなさい。

問四 「図表3」を元にして、スマートフォンによるインターネット利用で「行動範囲」が広がったと感じている割合が最も大きい国はどこか。

問五 あなた自身が最も多くスマートフォンを利用するのはどのような内容ですか。「図表1」の利用内容を参考にして、簡単に答えなさい。

問六 次の文章は、各表についての生徒の会話です。あてはまる語句を後の語群からそれぞれ選び、記号で答えなさい。

生徒A 「スマートフォンって、現代に生きる私たちにとって欠かせないものになっているよね。」

生徒B 「便利だから、いろいろなことに使えるもんね。それにしても、小学生女子の①%が「動画視聴」をしていることに驚いたわ。」

生徒C 「そうだね。それだけ趣味の幅が広がったのかもね。僕はスマートフォンを持っていないけど、中学生男子の「コミュニケーション」

の割合が小学生男子の約②倍強増えていることに驚いたよ。僕も買ってもらおうかな…。」

生徒D 「確かに必要になってくるよね。でも待って、図表2の小学生女子と中学生女子の利用時間を比べてみると、2時間以上3時間未満

の割合が大きく③、20・1%になっているよ。スマートフォンにばかり時間を取られるのもいやだなあ。」

生徒A 「図表1の高校生女子の利用内容を見たら、「コミュニケーション」が④%を超えているね！反対に「電子書籍」に利

用する人は⑤%しかないみたい。本を読むのが好きな私としては、さびしいな。」

生徒C 「海外の状況も見てみようよ。図表3だと、⑥の人は「友人とのコミュニケーション」が広がったって言っているね。どの

国も他の項目と比べて高いね。」

生徒B 「もっと⑦に対する意識があってもいいんじゃないかしら。一番高い日本でも18・1%よ。」

生徒D 「スマートフォンはとても便利だけれど、使い方間違えると本当におそろしいことになるよね。私たちも気をつけなきゃ。」

語群

ア	51・1	
イ	95・0	
ウ	2	
エ	ストレス	
オ	日本	
カ	減って	
キ	変わらず	
ク	90・0	
ケ	56・7	
コ	20・0	
ク	20・7	
シ	増えて	
セ	学習時間	
ソ	イギリス	
タ	フランス	
チ	3	
ツ	トラブルに あう不安	
テ	親との コミュニケーション	
ト	アメリカ	
ス	韓国	